

イクボスデー事業【坂井市】

総事業費	666 千円
交付金額	333 千円

地域の実情と課題

女性の就業率・正規雇用割合が高い反面管理職比率は低く、男性中心の労働環境が根強く残り、家庭においても男性の家事・育児参画時間が短い。
 従業員のワーク・ライフ・バランスや産休・育休の取得、子育てに積極的に関わってもキャリアを実現できる職場環境を整備するためには、職場の働き方の見直しや意識改革を行う管理職である「イクボス」の存在・推進は必要不可欠である。

事業の特徴

ポストコロナ社会の新しい働き方を考えるとともに、企業全体にイクボスの考え方を浸透させることを目的に、管理職前の中堅職員(プレ・イクボス)等を対象に基調講演とトークセッションを開催した。
 市内に本拠地を置き全国展開する企業や、地元密着型の企業さらに市内の高校生を招き、これからの働き手とイクボス宣言企業が意見を交わす場を設けた。高校生が考える「良い会社」の理想像や、登壇企業の社員の仕事の悩みを聞き出す取り組みなどを共有することで、自社の問題点に気づくとともに業務の課題解決方法について考える機会となった。

事業の効果

職場の働き方の見直しや意識改革に取り組みたい企業がイクボス推進事業に取り組むきっかけとなり、事業番号②のネットワーク(異業種の企業が集まったの勉強会)へ参加することで各自の企業内においてもイクボスが増え、イクボスの考え方が浸透する後押しとなっている。
 その結果、イクボス宣言企業も増加し、市内の女性活躍を推進する意識が着実に高まっている。

目的・目標

本市の実情と課題を踏まえ、企業間ネットワークでの定期的な研修等を通してイクボスを普及推進し、イクボス宣言企業や県の女性活躍推進企業の増加を目指す。
 ■市内のイクボス宣言企業 目標60社 (R4末で57社…未達成)
 ■市内の女性活躍推進企業 目標30社 (R4末で31社…達成)
 ※R4までの目標値

連携団体

坂井市イクボス宣言企業(事業所単位) 65社
 (令和4年度末時点)

今後の課題

■当事業への参加企業が伸び悩んでいるため、企業が抱える課題やニーズを把握し、それらを踏まえたテーマ等を設定することで、企業の参加を促す

イクボスデー

令和4年度のキックオフ事業として、新しい働き方を考えるイベントをオンライン生配信と現地参加型で実施した。「坂井市の若者はどんな働き方を求めているのか」をテーマに、市内企業のイクボス宣言企業2社と高校生によるトークセッションを実施し、双方の視点から働きやすい企業像などについて意見交換を行った。

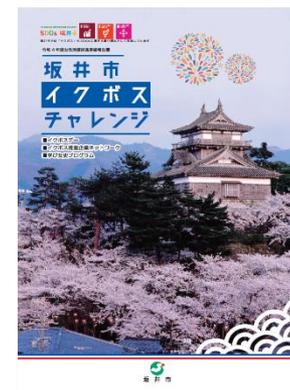
7月26日（火）

①基調講演「中小企業に必要な人材は？働き甲斐のある企業とは」

イクボスの推進や企業コンサルを専門とする講師を招き、市内企業およそ20社に対して、イクボスを現場レベルで実践するために必要なことを考えた。

②トークセッション「坂井市の若者はどんな働き方を求めているのか。持続的発展のため企業は何をしていくべきなのか」

市内イクボス宣言企業2社の人事担当者、市内企業に通う高校生2人を招き、良い会社とはどのような会社かについて意見交換をした。



▲報告書の作成・配布（新規啓発）